

基本目標3		誰もが安心して暮らし、活躍できるまち（地域社会）をつくる	
施策	KPI	R6-目標値 R4	施策の基本的方向
(1)共働の推進	共働事業提案事業を活用した事業実施数	<del>増加</del> <b>6件</b>	●住民との共働 ●県立宇美商業高校との連携
	宇美商業高校の連携・協力事項数	増加	
(2)地域コミュニティの活性化	「地域コミュニティ活動・ボランティア活動に現在参加しており、今後も参加したい」と回答した町民の割合	20.7%	●小学校区を範囲とした地域コミュニティづくり
(3)町民の利便性の向上	「道路交通網の充実」施策に満足している町民の割合	29.2%	●公共交通の維持、利便性の向上
(4)循環型社会の構築	<del>一般家庭のもえるごみの収集量 ※年間1人あたり</del>	減少	●ごみの再利用、減量化 ●食品廃棄物の削減、食育の推進
(5)安全に暮らせるまちづくり	災害時の避難路・避難場所を知っている町民の割合	90%以上	●防災対策の充実 ●地域防犯活動への支援 ●交通安全活動への支援
	宇美町内の刑法犯罪認知件数	減少	
	宇美町内の交通事故発生件数	減少	
(6)芸術・文化・スポーツ活動の推進	生涯学習活動（趣味や文化・スポーツ活動等）をした町民の割合（「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」の合計）	40.0%	●芸術・文化活動の推進 ●スポーツ活動の推進

□変更解説：対象期間の短縮に伴い、目標年をすべての項目で令和4年に変更。

年間のもえるごみの収集量（事業所含む）

### 基本目標3 誰もが安心して暮らし、活躍できるまち（地域社会）をつくる

町民と行政の共働によるまちづくりを基本としながら、小学校区コミュニティ運営協議会や自治会をはじめとする地域コミュニティの活性化、安全安心なまちづくり等を図り、「宇美町に住みたい・住んで良かった・住み続けたい」と実感できるまちづくりを推進します。

数値目標	H31 現況値	R6-目標値 R4
宇美町に住み続けたいと考える町民の割合	<del>64.6%</del> (H29) <b>62.1%</b>	70.0%以上

□変更解説：対象期間の短縮に伴い、目標年を令和4年に変更。